

3月講演会

下記のとおり、本学会主催の講演会を開催いたします。
(事前申し込み不要。会員外の方々の来聴も歓迎いたします。)

「古典の授業をつまらなくする5つの秘訣 —孔子様とは何者だったのか?—」

さく やすし
講師：佐久 協 氏（元慶應義塾高等学校教諭）

【講師紹介】

1944年生まれ、1967年慶應義塾大学文学部中国文学科卒、69年同大学院国文研究科（修士課程）修了、70年慶應義塾高校教諭。2004年早期退職。2012年以来アメリカに在住。著書に、『高校生が感動した論語』（祥伝社新書）、『100分で名著 論語』（NHK出版）、『21世紀の論語』（晶文社）、『論語2000年の誤訳』（KKベストセラーズ）、『なぜ中国人はそう考えるのか—日本初の思考史—』（出版芸術社）など40数冊。

【内容要旨】

古典を教わる者がつまらないと感じ、退屈する原因は山ほど指摘されてきたが、原因の99.999…パーセントは教える側にあり、その主たるもののは教員の思考や姿勢や態度にある。以下、5点に要約して指摘したうえで、こうした考えが『論語』の解釈にどのように反映してきたかを検討する。最後に古典教育の在りようと、わたしが推奨する『論語』の名言を伝えて締めくくろうと思います。

**日時：2026年3月21日（土）
15:30～17:00**

会場：斯文会館講堂（湯島聖堂内）

御茶ノ水駅下車徒歩2分（JR線・地下鉄丸ノ内線・千代田線）

参加費：無料

【主催】全国漢文教育学会（企画：研究委員会）

〒113-0034 東京都文京区湯島1-4-25 湯島聖堂斯文会館内

<http://www.zenkankyo.gr.jp/>